

発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884) 73-0743番
FAX (0884) 73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 (株) 教育出版
セ

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

暑中お見舞い申し上げます



平成二十五年
鯖大師本坊
柳本明善

盛夏の祈
皆様の健康を
心よりお祈り致します
合掌

〈香彩虹奏飛天〉

吉永邦治展・平成25年10月1日(火)～12月15日(日)
南あわじ市滝川記念美術館「玉青館」にて展示作品

作家紹介

吉永 邦治 Kuniharu Yoshinaga

1944年、鹿児島県に生れる。
桑沢デザイン研究所で学びドイツに遊学。
陶芸建築、西洋美術等をロッセ・ロッシェリー氏に学ぶ。
その後、高野山大学に入学し、山本智教博士に、東洋美術、仏教・密教芸術などを学ぶ。高野山大学文学部仏教学科卒業。
絵画は、山口長男に師事。
「気まぐれ美術館」(新潮社)の著者である洲之内徹氏と出会い、現代画廊で東洋各地を旅した作品展が開かれ、その度に多大なる影響を受けた。その時代頃の吉永氏については、平成14年1月1日、日本経済新聞の文化欄に「初春、飛天と空へ」というタイトルで掲載された。また、飛天の変遷やシルクロードの旅についての講演も各地で催されている。
元・大阪大谷大学・教授 現在・関西学院大学非常勤講師

主な展覧会：

岡山・高梁市成羽美術館、
大阪大谷大学博物館、
奄美・田中一村記念美術館、
高野山霊宝館、横浜・テラノホール。

個展：

東京・伊勢丹新宿店、銀座・現代画廊、
大阪・阪急うめだ本店、淀屋橋・高宮画廊、
広島・福屋、博多・大丸、鹿児島・山形屋
ブリュッセル・ローレライ画廊(日本大使館後援)
国内各地での個展多数

主な著書：

・飛天の道 |小学館| 東洋の造形 |理工学社|
・吉永邦治素描作品集 |京都書院|
・風貌 釈迦十大弟子 |向陽書房| 他多数

「般若心経」
多宝塔に飛天(天女)が舞う
飛天との出会い

空を飛ぶ天女、飛天は寺院の天井絵や欄間
で度々見かけることがあった。

平成十四年の元旦、日本経済新聞の文化欄
に吉永邦治先生の「初春、飛天と空へ」とい
う記事を読み非常に興味を覚えました。

しばらくして高野山大学の或る会合で偶然
にも吉永先生と同席、先生が高野山大学で学
ばれたこと、飛天についての想い、話しを伺
いました。

平成二十年三月、鯖大師では平成元年に発
願以来、悲願でありました般若心経多宝塔建

設に着工しました。工事が進み多宝塔の建物
が出来るに従い、この多宝塔に飛天が舞って
欲しいという想いが募ってきました。

平成二十一年の秋、吉永先生に多宝塔で飛
天が舞って欲しい、飛天を描いて下さいと、
お願いしました。

今秋、般若心経多宝塔に飛天が舞います。
是非共、ご覧になって下さい。

この飛天奉納に皆様の御理解とお力添えを
お願い致します。

鯖大師本坊住職

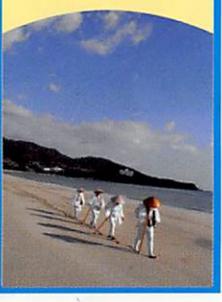
柳本 明善

合掌

南無大師遍照金剛

人生即遍路 四国八十八ヶ所・別格二十霊場

歩くお遍路 第十一回 平成25年
 2月5日 2月10日 より
パート(6) 満足行巡拝



第十一回満足行の最終回、四国八十八ヶ所霊場結願所・大窪寺、四国別格二十霊場、第二十番・大瀧寺参拝と高野山の御礼参り

前に歓喜天がお祀りされており「八栗の聖天さん」として名高い。

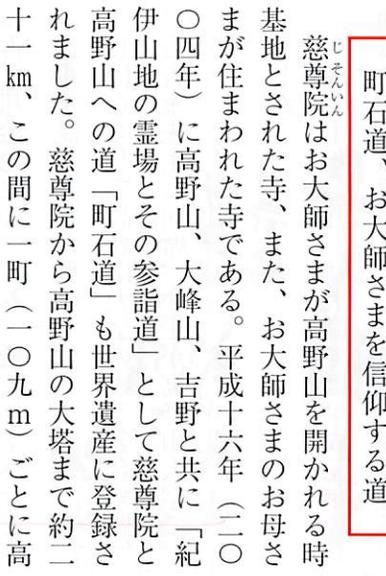
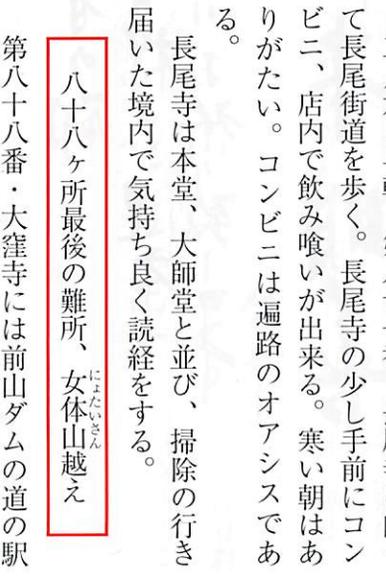
二月五日早朝、高松市街より春日橋を渡りテール状の屋島に向う、屋島小学校下よりゆるやかな登り、途中に「御加持水」「喰わずの梨」の霊跡、さらに登り二つの山門をくぐると十一面観世音菩薩・御本尊の第八十四番・屋島寺の本堂、本堂の横には、お大師さまを案内した太三郎狸の大きな石像がユーモラスに建つ、屋島は源平合戦の舞台、屋島から源義経の如く急坂を檀ノ浦に下る。

八栗寺より裏参道を下り国道十一号線、海沿いに旧道を歩くと第八十六番・志度寺、秋の夕暮れは早く夕方五時に薄暗くなる。志度寺は西暦六二五年に開創されたという歴史の古い寺、広い境内に五重の塔がそびえ建つ。

江戸時代に四国遍路ブームを起こし、今に四国遍路の中興の祖と称される真念大師の墓を洲崎寺に訪ね参拝する。

二月六日早朝、第八十七番・長尾寺に向って長尾街道を歩く。長尾寺の少し手前にコンビニ、店内で飲み喰いが出来る。寒い朝はありがたしい。コンビニは遍路のオアシスである。

二月七日、昨日先き歩きた県境脇脇町まで車を使い、五時半、広棚よりライト片手に林道を登る。枯枝、ぬかるんだ石ころ道と歩きにくい。標高九三〇mの大瀧寺、今年には雪が少ないとのこと、残雪が少し残る本堂御宝前で四国別格二十霊場最後のお勤めをする。大窪寺から別格霊場第二十番・大瀧寺までは二〇km、大窪寺参拝後、徳島県の県境、脇町まで先歩きをし大窪寺の近く、温泉旅館・竹屋敷まで車で引き返し宿泊する。



第十一回満足行成満者
 宮城県 伊藤とよ子
 石川県 沼田 幸次
 岡山県 中山 素身

第十一回満足行 全コース
 修行日数 51日間
 歩行距離 1,330km

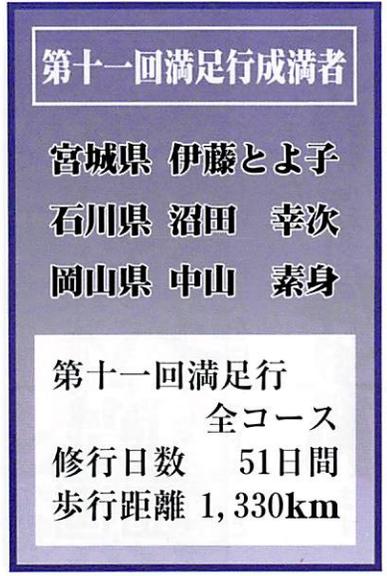
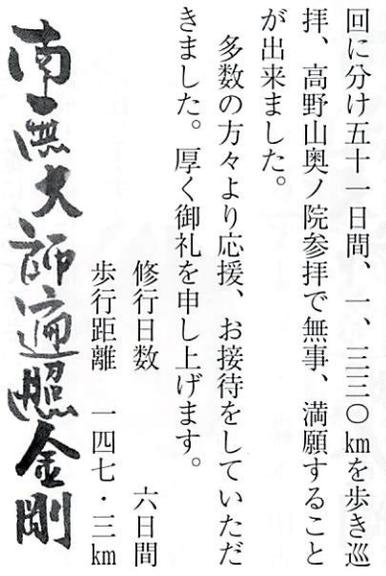
南無大師遍照金剛
 修行日数 六日間
 歩行距離 一四七・三km

慈尊院はお大師さまが高野山を開かれる時基地とされた寺、また、お大師さまのお母さまが住まわれた寺である。平成十六年(二〇〇四年)に高野山、大峰山、吉野と共に「紀伊山地の霊場とその参詣道」として慈尊院と高野山への道「町石道」も世界遺産に登録されました。慈尊院から高野山の大塔まで約二十一km、この間に一町(一〇九m)ごとに高さ三mの石で出来た五輪の塔が百八〇基建てられています。この町石に導かれて高野山に登ります。

二月八日、午前五時四十分発の南海フェリーに乘船、和歌山港より歩く、県庁前を通り東警察署から紀の川南岸の県道を歩き岩出市に出る。かつらぎ町から紀の川に沿って九度山町まで歩く、川風が冷たい。

高野山は明治の初めまで女人禁制、女の人には高野山を囲む峰々を巡って参拝を禁じた。この道が今に女人道として残っています。今回、大門のお助け地藏より奥ノ院の近く中ノ橋まで女人道を歩き奥ノ院に参拝しました。二月十日午後一時、奥ノ院を参拝、平成二十三年六月より四国八十八ヶ所霊場、四国別格二十霊場を六回に分け五十一日間、一、三三〇kmを歩き巡拝、高野山奥ノ院参拝で無事、満願することが出来ました。

多数の方々より応援、お接待をしていただきました。厚く御礼を申し上げます。



町石道

別格20番・大瀧寺

女人道

丹生都姫神社

般若心経塔と浄財 寄進者ご芳名

五十万円以上	青森県 藤田 正末 兵庫県 天喜 万智
大阪府	野宮 ナリ 奈良県 藤江 孝子
木下 文雄 木下トヨノ	宮城県 伊藤とよ子 和歌山県 北野 福一
十万円以上	丹治はるみ 岡山県 安田 典子
青森県	島山さち子 安田 史郎
白戸 妙典	千葉県 山本 憲示 行安 力
兵庫県	池田侑美枝 山本 洋子
徳島県	徳島県 高橋 京子 天野 恒道
横川 武美	東京都 大松 慈永 徳島県 松浦キミコ
五万円以上	青森県 野呂喜久恵 徳島県 河野 守義
東京都	新井 久子 八木岡一枝 飯島 睦子 平田 澄子
三万円以上	北海道 吉鷹 美枝 新潟県 本間 路子 香川県 樽井 良江
千葉県	山本富士実 富山県 原 節子 愛媛県 向井 稔
和歌山県	高尾 静子 長谷川誠次 田中 洋子
徳島県	鸺木としゑ 豊島 和子 紀子
愛媛県	上平 雅子 滋賀県 佐野 信恵 糸永 代継
橋本 美子	大阪府 小野 妙圓 鈴木 清子
佐賀県	桑原スミ代 橘 美千子 山崎 民子
一万元以上	北海道 笹瀬枝美子 濱田 孝子 兵庫県 加藤有里子 市村 明子 松浦 幸子
青森県	葛西 ツワ 加藤有里子 願された方で す。(敬称略)
元木 亮子	

御奉納

馬頭観音大のぼり

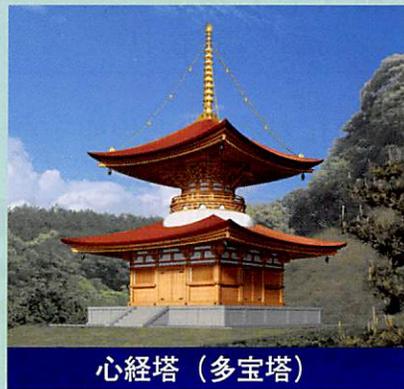
徳島県 島 秀子
徳島県 南 るみ

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。皆様の御写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙 (三十枚つづり)

一冊 千円

荷具送料 三百円

お写経奉納料 (一枚) 千円

奉納お写経 105,701巻

上記の巻数は、平成2年12月1日より平成25年6月30日までの累計です。

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日を合わせた七日間をいいます。

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「迷い」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間

一霊・三千元

- 【布施】 他人へ施しすること
- 【忍辱】 不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禅定】 心を安定させること
- 【持戒】 戒を守り、反省すること
- 【精進】 精進努力すること
- 【智慧】 真実をみる智慧を働かせる

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

お盆供養のご案内

八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源^{みなもと}はご先祖さまです。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。命の源^{みなもと}、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。





家内安全大般若経法要

ご法礼大祭

十一月三日(日)文化の日

お大師さまの
ご恩をたたえ喜ぶ



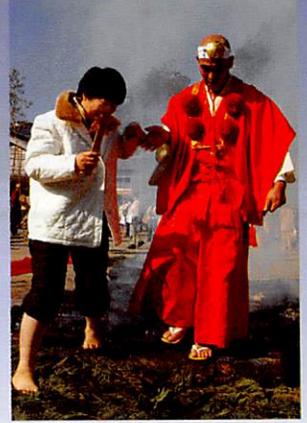
厄除開運大柴燈護摩



奉祝大もち投げ

行事

- 水琴千体地藏尊御供養 (駐車場) 午前九時
- 家内安全大般若経法要 (本堂) 午前十時
- 厄除開運大柴燈護摩 (駐車場) 午後一時
- ※火渡り修行に参加して下さい。
- 奉祝大もち投げ (駐車場) 午後三時
- ※うどんお接待



火渡り修行

本年もご法礼大祭を上記の如く盛大に修行する予定です。
ご参加、ご拝顔を楽しみにしております。

◎前日、及び当日ご宿泊の方は十月二十日までにお申出ください。

大祭、前夜祭(宿泊のご案内)

「飛天曼荼羅、ご開帳結願法要」

十一月二日(土)

夜七時より

飛天の研究、第一人者であり画家・吉永邦治師が心魂を注ぎ三年の月日をかけ完成させた、飛天のご開帳結願法要を執り行います。

鯖大師では多宝塔、飛天曼荼羅荘厳にあたり、内壁と飛天群の間に壺千文字(般若心経・観音経・正観音御真言等)奉納を發願、奉納ご寄進の方の代表として浄書、封印致します。

当日、結願法要では壺千文字奉納發願でご寄進いただいた奉納者をお願い事を、天空より舞い降りて来る飛天さまにより、その願いを飛翔して光り輝く天空界へ届けて戴くよう、ご開帳結願法要を厳修致します。

「ご開帳結願法要」式次第

- 一、観音経 一遍
- 一、般若心経 七遍
- 一、正観音御真言 壺千遍

※飛天曼荼羅は十一月一日(火)開白法要から十一月二日(土)ご開帳結願法要後も、十二月十五日(日)までの期間、ご開帳致します。どうか、この機会に多宝塔内にお入り戴き、飛天群・曼荼羅空間の宇宙と生かされている命尊さを体感し、飛天さまとの御縁をお結び下さい。

ご参加、ご宿泊希望の方

※法要参加、宿泊人数に限りがあります、ご希望の方お早めにお電話下さい。

特選 鯖大師銘香

お盆にはご先祖さまに良い香りを!!



蓮華の香り

福の花

徳用 (1,600円)



小箱 (800円)



本格

白壇

徳用 (2,400円)

小箱 (1,000円)



智慧の香り(金粉入り)

般若

徳用 (2,400円)

小箱 (1,200円)

※ご希望の方は品名、個数をお知らせ下さい。送らせていただきます。尚、送料の負担をお願い致します。

護摩堂内奉安護摩
祈願の大不動明王



大不動明王
願主ご芳名

千体地藏尊
願主ご芳名

大阪府

市道 一成
市道 雅人

愛知県 谷村とし子

広島県

日高 康子
高田 郁子

大阪府

市道 芳文

愛媛県

西岡 勝子
西岡 恭三

岩手県

島山 トミ子

香川県

浮田 とし子

奉安、ご祈願ご希望の
方はお申し出下さい。

火災に願事、お名前を記入
(一人・一願)

大不動明王、千体地藏尊の各ご祈願、ご浄財のご芳名は、平成二十四年十二月一日より平成二十五年六月三十日までの期間にお申し出、奉納していただいた方です。
ここに厚くお礼を申し上げます。
尚、すでに奉納されている方で、この期間以外の方はここに掲載されておりません。(敬称略)

不動明王・白衣観音
ご浄財ご芳名(二万円以上)

群馬県 伊藤 照婉
駒井 千恵子

佐賀県 桑原 高士

永代ご祈願大不動明王



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm

重さ8kg

願主奉納料
金 参拾萬圓也

へんろ会館、壹替え御浄財の御礼

一口千円

二口(二名)

一口(十二名)

合計(十四口)

平成二十四年十二月一日より平成二十五年六月三十日までに奉納された方です。

へんろ会館、設備におきましては宿泊の方に十分なお世話、行届かない所もあり、ご迷惑をおかけしております。
皆様へ頂いたご浄財にて、徐々にはありますが、畳・襖を張り替えさせてもらっております、ありがとうございます。
畳替えご浄財ご奉納された皆様、ここに厚く御礼申し上げます。
これからも、お遍路さんが快適にお泊り出来ますよう、お力添えの程、宜しくお願い致します。

永代・位牌
祥月命日特別御供養

お大師さま御修行の霊地、四国
鯖大師本坊で永代にご供養致します。

◎お位牌、過去帳、亡くなられた方の御法名を毎月の御命日に永代にご供養致します。

※ご希望の方はお申し出下さい。

位牌預かり命日供養
過去帳記入

一基 参拾万円

月命日供養
過去帳記入

一基 拾万円

十一月三日鯖大師御法礼大祭

大柴燈護摩壇木奉納のお願い

壇木奉納

一本(一願)

壹万円

あなたのお願いを、檀木に淨写して大柴燈護摩修行にて、ご祈念お焚き上げ致します。

※数に限りがありますので、三十本お集まり次第、〆切らせて頂きます。ご了承の程。

※お電話にて承ります。お申し出下さい。

白衣観世音菩薩願主のお勧め

大悲の心で、私たちに苦しみから救い導く仏、観音さまにお願いを!!
娑婆世界(現世界)には、さまざまな苦しみ・悲しみがいっぱいあります。観音さまは、この苦しみ・悲しみから救うため、極楽浄土の世界より娑婆世界に降りてきます。

そして、三十三通りの姿に変わり、私たち一人一人の事情に応じて、その姿を変え救いの手を差し延べて下さいます。観音さまの手が長いのは、やさしい手を差し延べてくれるという慈悲の形の表れです。
 観音さまにお願い事のある方、永代のご供養を望まれる方は、願主になられ、ご加護を受けられますようお勧め致します。



願主 徳島県 山田 太郎

※観音さま姿姿とご希望の方は、お申し出下さい。申込用紙をお送り致します。

白衣観音奉納願主ご芳名

北海道	阿部 喜久恵	三重県	石原 了文
青森県	伊藤 照久	大阪府	市原 一子
群馬県	伊藤 修聖	岡山県	玉木 康二
	伊藤 井	徳島県	高木 郁子
	駒井 千恵	高知県	日高 美緒
	駒井 喜美子	愛媛県	高田 勝子
	小山 満藏		西岡 美子
	内藤 裕子		西岡 健二
	藤田 章子		西岡 健二
	藤野 友加		西岡 健二
	平野 ヤ		西岡 健二
	橋本 鈴子		西岡 健二
千葉県			
東京都			
愛知県			

平成二十四年十二月一日より平成二十五年六月三十日まで奉納祈願された方です。(敬称略)

白衣観世音願主料 貳万円 (1体1願)

◎お願い事、お名前を刻印し御祈念後、西国三十三観音お砂踏み霊場に奉安します。

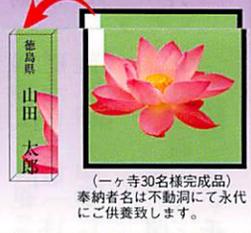
八十八ヶ所 お砂ふみ 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。
 今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされておられ、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納のお申し出をお願い致します。奉納供養は一口壺万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。



奉納数は一〇八ヶ寺で終了とさせていただきます。

蓮華台奉納のお申し出をしていただける方は、お願い事、施主名をお知らせ下さい。※申し込み用紙をお送り致します。



(一ヶ寺30名様完成品) 奉納者名は不動洞にて永代にご供養致します。

鯖大師ホームページ

URL <http://www.sabadaishihonbou.jp>
 * ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

ブログ「鯖大師本坊 歩き遍路・沙門明善」

* 満足修行の道中日記や写真、その他行事には更新しています、良かったらご覧ください。

蓮華台奉納願主ご芳名

第五十八番 仙遊寺	岩手県 薄衣 ユフ	北海道	金田真智子
	群馬県 小倉 由莉		桑原 シゲ
	東京都 岩井 秀夫		桑原 勝義
			野呂喜久恵
			伊藤とよ子
			伊藤喜寿雄
			小倉 節子
			桑原 政昭
			水野 進
			中島 恵
			中島 裕介
			故、草地 ナツ子
			故、草地 兼光
			田中 久一
			田中三津子
			田中 俊明
			田中 優
			太田ミツエ
第五十九番 国文寺	香川県 菊池恵美子	香川県	太田ミツエ
	香川県 白山 福義		
	香川県 中村 一		
	香川県 野村智恵子		
	香川県 大坂府 故、草地 ナツ子		
	香川県 故、草地 兼光		
	香川県 田中 久一		
	香川県 田中三津子		
	香川県 田中 俊明		
	香川県 田中 優		
	香川県 太田ミツエ		
第八十四番 屋島寺	徳島県 佐藤 充寛	徳島県	佐藤 充寛
	徳島県 佐藤 典子	徳島県	佐藤 典子
	徳島県 小川 恵里	徳島県	小川 恵里
	徳島県 小川 真希	徳島県	小川 真希
	徳島県 小川 美和	徳島県	小川 美和
	徳島県 高知県 中平 サチ	徳島県	高知県 中平 サチ
	徳島県 大阪府 行則	徳島県	大阪府 行則
	徳島県 南 政子	徳島県	南 政子
	徳島県 南 邦明	徳島県	南 邦明
	徳島県 南 ブル	徳島県	南 ブル
	徳島県 南 ドボ	徳島県	南 ドボ
	徳島県 南 三十口	徳島県	南 三十口

お砂踏み 霊場 御仏体奉納のお願い 永代供養

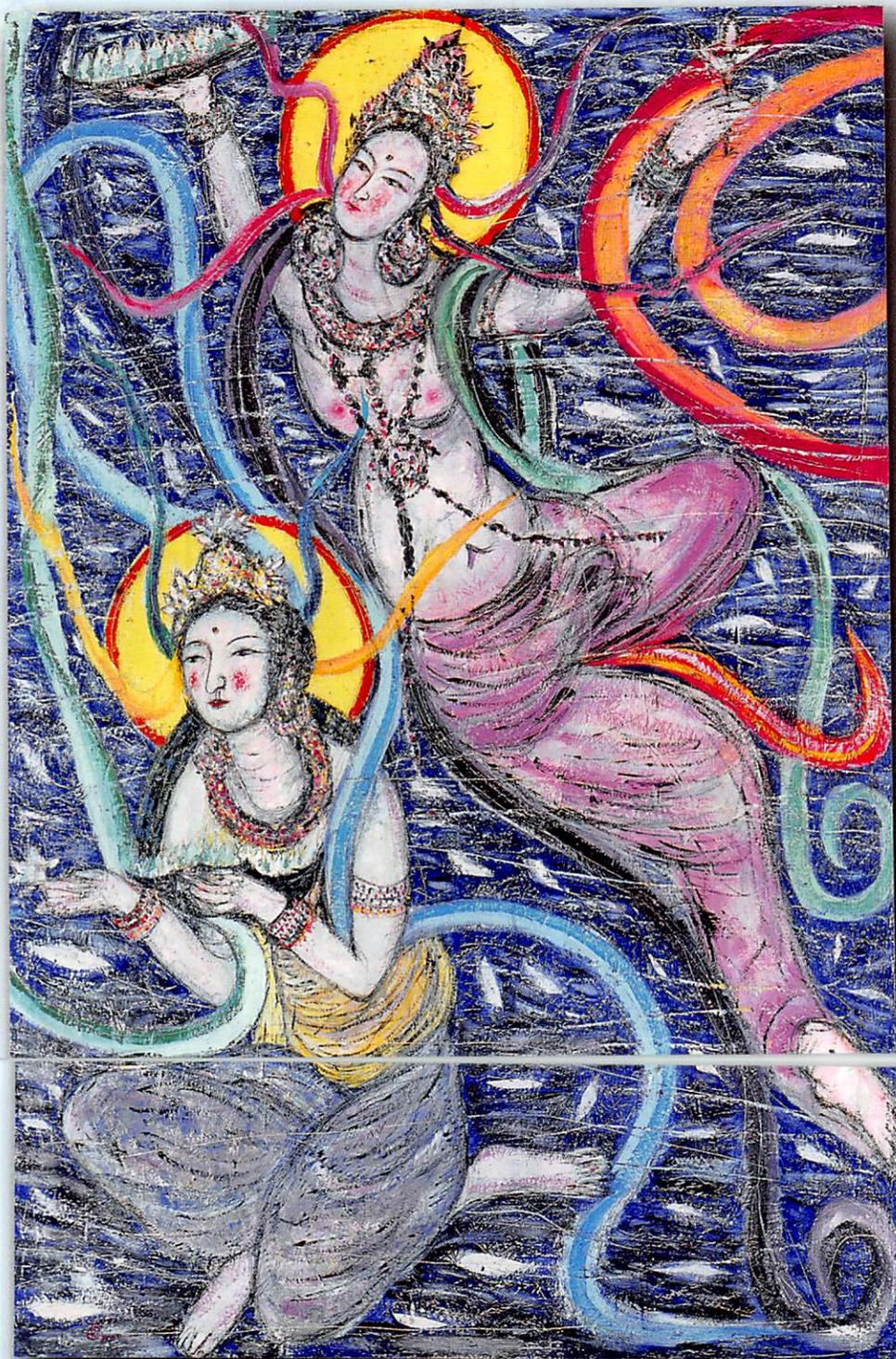
- 西国三十三観音(各御本尊)
- インド八大仏跡(釈迦如来)
- 中国、入唐赤岸鎮(弘法大師)
- 中国、西安市青龍寺(惠果阿闍梨)



鯖大師では、お砂踏み霊場の御仏体建立奉納をお願いしております。
 当代の仏師長野六弘師に依頼、各御本尊彩色彫りにて御厨子、納骨台に御芳名を刻印納骨致します。
 御仏体は鯖大師にて永代に供養させていただきます。
 ※奉納していただける方(三六ヶ所)指定ヶ所をお申し出下さい。資料お送り致します。
 第一番、第二番、第三番、第五番、第六番、第八番、第二十番は既にお祀りしております。右記以外で指定下さい。

天地——天空飛天への 夢曼荼羅・四国霊場にて開華

宙に舞う飛天



吉永邦治展・平成二十五年十月一日(火)〜十二月十五日(日)
南あわじ市滝川記念美術館「玉青館」にて展示作品

美しい飛天の姿に魅せられた画家吉永邦治師によって、三年にわたって描かれた飛天曼荼羅。
ここ四国霊場、別格二十霊場札所・鯖大師本坊「般若心経多宝塔」にあますところなく飛天群が翔舞、塔内陣は天空世界に満々、宙のかなたへいざなう。

「飛天曼荼羅」ご開帳結願法要

十一月二日(土) 夜七時より

今年十月一日(火)の開白法要より十一月二日(土)の結願法要後も十二月十五日(日)までご開帳致します。

飛天の研究、第一人者であり画家・吉永邦治師はギリシャ、イタリア、スペイン、ベルギー、ドイツ、フランスなどヨーロッパ各地の西洋美の世界、インド、チベット、中国など広くアジア各地の東洋美の世界を四十年以上にわたって巡歴されています。

吉永師は高野山大学時代より飛天を求め、アジア各地に伝わる、数えきれない程の飛天を描き、探究され続けます。

今回、多宝塔内部の総壁面に天空界より飛天群が舞い降ります。

吉永師は多宝塔に飛天群を招来するために三年の月日をかけ、心魂を注ぎ描き下さいました。これは皆様が願いを込めて書かれたお写経を、天空より降りてきた飛天さまが、その願いを天空界へと飛翔し届けて戴けるために描かれています。

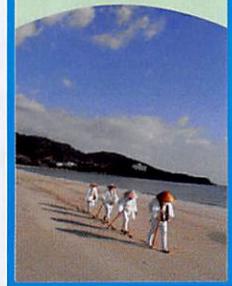
吉永師自らが、シルクロードを始め東洋各地、ユーラシア各地を旅する中で集められた石は何億年前からの生命でもある、高山、荒涼とした大地の地球から生み出された光り輝く寶石(岩彩)を砕き、絵に塗り込められた飛天群の多宝塔は、何千年もの時を越える宇宙であり、曼荼羅であり、洞窟一面に描かれた飛天群の壁画の如く、これより千年先までも、お四国を巡礼される方の拠り所として在り続けることと想います。

四国八十八ヶ所・別格二十霊場
四国霊場開創一二〇〇年記念
人生即遍路

へんろ道の言葉
焼山寺越えてまた湧くわが命
岡田守
美波町由岐「俳句の小徑」句碑

歩くお遍路 第十二回
パート(1) 満足行巡拝

平成25年 6月17日
より 6月25日



平成二十六年は、お大師さまが四国霊場を開創され一千二百年になります。
今回の満足行は、この御遠忌を記念し四国八十八ヶ所霊場、四国別格二十霊場を巡拝、お大師さまの同行二人の御誓願をさらに修行する。

梅雨時の遍路の大事は雨と暑さ

六月は梅雨、この季節の遍路は雨と暑さが最も気になる。

六月十七日、早朝、第一番・霊山寺を参拝、静かな境内で読経、いよいよ第十二回満足行の始まりである。

霊山寺から第二番・極楽寺、第三番・金泉寺は近い、矢つぎ早に打つ。第四番・大日寺を参拝する頃より日射しが強くなり汗が吹き出る。第五番・地藏寺は境内の中央に樹齢八百年の大イチョウ、大師堂は改修工事中、別格二十霊場第一番・大山寺は地藏寺より高速道路をくぐり二時間半の登り、特に山門より本堂までの石段に息が上がる。大山寺は源義経が戦勝祈願をしたと伝えられる。

十八日は観世音菩薩の御縁日

民宿・寿食堂より第六番・安楽寺は近い。紅白のあざやかな山門の第七番・十楽寺を参拝する。十楽寺より第八番・熊谷寺まで約一時間高速道路に沿うように歩く。熊谷寺の山門は田園の中に高くそびえる。境内には丁度見頃のあじさいが彩る。十八日は観音さんの日、御開帳された御本尊、千手千眼観世

音菩薩が本堂に燦然と輝く。
涅槃釈迦如来の御本尊第九番・法輪寺は田園の中、第十番・切幡寺は三百三十段の石段に喘ぐ。第十一番・藤井寺は吉野川を間に対岸、善入寺島から吉野川の潜水橋を渡り、夕方五時前に着き参拝する。

今に残るお大師さまの道

六月十九日午前五時、藤井寺本堂横より登り始める。お大師さまが休まれた長戸庵、柳の枝を地にさし、水を出され今に水が豊かに流れる柳水庵、大杉の下に立つ大きな修行大師像の浄蓮庵、何度来てもこのお大師さま



第10番・切幡寺はたぎり観音



第11番・藤井寺への道吉野川・潜水橋



第12番・焼山寺へんろ道入口



一本杉のお大師さま

まには感激させられる。左右内の集落から二時間の登りで標高七〇〇mの第十二番・焼山寺に着く、折からの団体参拝の遍路さんで境内は一杯、参拝後、麓の鍋岩まで一気に下る。

鮎喰川を眼下にのどかな山のへんろ道

四日目の二十日は朝から雨、台風接近のこと時々激しく降る。鍋岩より玉ヶ峠に登り鮎喰川北岸の林道を阿野に下る。別格霊場第二番・童学寺は用水池のほとりに小さな山門が絵になる寺である。童学寺より国道一九二号線を第十六番・観音寺の近くまで歩き、第十五番・国分寺、第十四番・常楽寺と逆打ちをする。国分寺は山門、鐘楼堂、二層のそびえる本堂と非常にシンプル、二十数年？前に焼失した大師堂は再建工事中。第十四番・常楽寺は近い、境内は自然石を利用した「流水岩の庭」は風情がある。宿は第十三番・大日寺の横、かどや旅館に宿泊。



別格第2番・童学寺山門

徳島市街を通らず地藏峠越え

六月二十一日、早朝に大日寺を参拝し朝食後、第十六番・観音寺より打つ。第十七番・井戸寺を参拝、曇り空で涼しい。井戸寺より鮎喰橋を渡り名東の地藏院を指し地藏峠越えをする。国道五十五号バイパスを歩き第十八番・恩山寺、お大師さまがおかあさまに孝養を尽くされた縁起の寺である。

星の岩屋と慈眼寺の穴禅定

六月二十二日、恩山寺の前より第十九番・立江寺に歩く。阿波の関所寺、街中に大伽藍を



星の岩屋・裏見の滝

誇る。立江寺から番外、星の岩屋に登る。一昨日来の雨で滝は勢いよく流れ、一層幽玄な気が漂う。別格霊場第三番・慈眼寺には午後四時に着く、本堂までの急坂を登り穴禅定修行をする。毎回、なんとも言えない気持、有り難い!!

鶴林寺より西の高野山、太龍寺

六月二十三日、勝浦町棚野より第二十番・鶴林寺に登る。参拝後、一気に那賀川の水井橋まで下り第二十一番・太龍寺への登り、太龍寺は西の高野山と言われる大伽藍、南捨身ヶ嶽のお大師さまを参拝して下山。

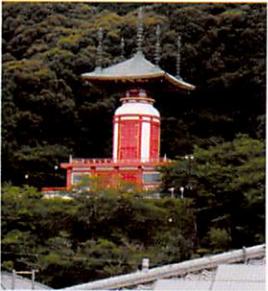


へんろ小屋(折りの塔)

六月二十四日、太龍寺の麓より阿瀬比、竹林の遍路道を歩く。大根に六月二十一日に完成したへんろ小屋、「祈りの塔」斬新なデザインである。

潮騒のへんろ道と俳句の小径

第二十二番・平等寺から国道五十五号線歩き美波町由岐、久し振りに海の匂いを感じ、俳句の標柱が並ぶ俳句の小径を歩く。



第23番・薬王寺の瑜祇塔

第二十三番・薬王寺は厄除の寺として有名である。薬王寺より別格第四番・鯖大師本坊までは二十一km、午後二時半、鯖大師本坊に着きパート(1)を無事に終る。

同行者 十二名(途中参加者を含む) 合掌
歩行日数 九日間
歩行距離 一二二km
南無大師遍照金剛